

AVニュース エクスプレス

「教育映像祭中央大会」開催
平成14年度「全国自作視聴覚教材コンクール」に115作品が応募
著作権法の一部改正
「日本教育メディア学会第9回大会」開催
「2002年度日本シミュレーション&ゲーミング学会秋季全国大会」開催
「第46回日本紹介映画・ビデオコンクール」開催

協会情報

「教育映像祭中央大会」開催

2002年教育映像祭中央大会は例年どおり、「優秀映像教材選奨」と「視聴覚教育功労者」の表彰、および優秀映像教材選奨入賞作品の上映会の2つの行事を柱に、去る8月23日に実施された。

表彰は、東京霞ヶ関・東海大学校友会館において、文部科学副大臣青山丘氏らを来賓に迎え、受賞者・関係者200名の参加を得て行われた(写真 目次参照)。

また上映会では、午前中、東京霞ヶ関・虎ノ門ホールにおいて、優秀映像教材選奨入賞作品の上映会に先立ち、一昨年から併催されるようになった「夏休み子ども映画フェア」には895名が来場した。さらに今年は、「子ども霞が関見学デー

の一環行事として「ディズニー映画フェア」も加わり、終日、映画が上映された。

平成14年度「全国自作視聴覚教材コンクール」に115作品が応募

(財)日本視聴覚教育協会主催による標記コンクールの参加作品数は115作品。内訳は以下の通り。

| | |
|-------------|------|
| 小学校部門(幼稚園含) | 43作品 |
| 中学校部門 | 14作品 |
| 高等学校部門 | 3作品 |
| 社会教育部門 | 38作品 |
| 郷土学習教材部門 | 17作品 |

参加種別 = ビデオ82作品、スライド9作品、TP1作品、CD-ROM15作品、紙しばい(絵巻含)6作品、セット教材(ビデオ・CD-ROM等)2作品

AV情報

著作権法の一部改正

著作権法の一部を改正する法律が、第154回国会で成立し、平成14年6月19日に平成14年法律第72号として公布された。

今回の改正は、近年の情報伝達手段の発達等に伴い、著作物等の利用形態のいっそうの多様化への対応や、著作権法制における国際的な協調の必要性がますます高まっていることを踏まえて行われたものである。

この法律の改正項目は、次の4点であり、1.については平成15年1月1日から、2.3.および4.については平成14年10月9日(「実演及びレコードに関する世界知的所有権機関条約」が日本において効力を生ずる日)から、それぞれ施行されることとなっている。

改正項目

1.「放送事業者」及び「有線放送事業者」に「送信可能化権」

ブックレビュー



「教育工学への招待 教育の問題解決の方法論」
赤堀侃司著 ジャストシステム
2002年7月刊 271頁
1,200円(税別)

本書の魅力はなんといっても、わかりやすく、読んでいて元気が出てくることである。「教育工学は、真理の探究が目的ではな

い。様々な原因があったとしても、どうしたら良いかを探求し実践することが目的である」との著者の言葉は、現実の教育が抱える問題を解決してくれる学問が存在することに気づかせてくれる。研究方法として、「まるで『まさかり』のように、大胆に様々な方法や手段を持ち込んだ」そのアプローチによって、「総合的にデザインする」特徴が明確に伝わってくる。

読者は、本書を読み進むうちに、教育工学の木が頭の中で形成されていくことを実感するであろう。現実の教育に根を張り、目的に向かう幹から、さまざまな分野とその研究方法の枝を伸ばし、具体的な研究から得られた知見や概念の葉の茂った教育工学の木を。学習理論は幹の重要な部分を占め、「状況的な学習」などは、本書のいたるところで、繰り返し参照されている。

それぞれの葉の根拠となる国

際的に重要な研究がわかりやすく紹介され、そういうことだったのかと納得させられる。さらに、この木を構成する重要な何枚もの葉は、著者の研究室の成果から記述されている。

「方略の学習」、「構造化」、「教育システム設計」の枝は、ひときわたく、多数の葉に覆われている。「自己の語り」や「学習環境とコミュニケーション」の新しい枝や脳科学の新緑も眩しい。

本書によって、読者の脳に構成された教育工学の構造の木は、現実の教育事象を理解したり、自分の考えを整理したり、新たな課題に挑戦する指針を与えてくれる。「総合的な学習」や「情報教育」への直接的な手引きとしても必読の書である。

私事で恐縮だが、大学受験を控えた長男の誕生日のプレゼントとして本書を贈ることにした。(信州大学教授 東原義訓)

を付与すること。

2. 「実演家人格権」(「氏名表示権」及び「同一性保持権」)を創設すること。
3. 「レコードの保護期間」の「起算点」を変更すること。
4. 「実演及びレコードに関する世界知的所有権機関条約」締結のため規定を整備すること。

学会情報

「日本教育メディア学会第9回大会」開催

日本教育メディア学会主催による標記大会が、下記の内容で開催される。

日程
平成14年10月13・14日
会場
桐蔭横浜大学
横浜市青葉区鉄町1614

プログラム

第1日目:[自由研究発表 教材開発/分析研究/実践研究[課題研究発表]教育メディアの選択と可能性/基礎学力と教育メディア[シンポジウム]テーマ:「電子情報技術による遠隔大学教育の将来」

第2日目:[自由研究発表]情報教育実践/言語教育/国際協力[課題研究発表]ITと教育、言語、人間をめぐる諸問題/放送と通信の融合等による新たな情報環境における教育の展望と課題[シンポジウム]テーマ:「国際理解教育とメディアの役割」。

問い合わせ先
日本教育メディア学会第9回大会準備事務局 〒225-8502
横浜市青葉区鉄町1614 桐蔭横浜大学内 TEL045-974-5075

「2002年度 日本シミュレーション&ゲーミング学会 秋季全国大会」開催

日本シミュレーション&ゲーミング学会では、標記大会を下記の内容にて開催する。

テーマ
「シミュレーション&ゲーミングと社会科学の新しい関係」
日時
平成14年9月28・29日
場所
京都大学経済学部(吉田キャンパス)京都市左京区吉田本町
内容

授業と教材研究部会のセッション:「バーチャルモールを活用した地域連携共同学習システムの学習効果」/「インタビューデータベース『世界遺産』の制作」/「貿易ゲームの開発

研究資料紹介



「生涯学習社会におけるメディア・リテラシーに関する総合的研究 最終報告 社会教育編、学校教育編」

国立教育政策研究所
2002年3月刊 A4版
問い合わせ
国立教育政策研究所
03-5721-5045

この2つの研究報告書は、平成10年度から13年度の国立教育政策研究所の調査研究等特別推進経費による研究としてまとめられており、生涯にわたり必要とされるメディア・リテラシーを研究の対象としている。

メディア・リテラシーの概念についての理論研究を端緒とし、学校教育や社会教育において、メディア・リテラシーに関して、どのような取り組みや指導がなされているか、児童・生徒や成人に、どの程度習得されているかなどについての実証的分析により、今後の学校教育や生涯学習社会におけるメディア・リテラシーの研究の方向性を探るうとするものである。

- 調査報告書の構成 -
社会教育編

1. 企業における女性のメディア・リテラシーの実態に関する調査研究（グループインタビュー調査）
2. 企業におけるメディア利用とメディア・リテラシー（企業におけるメディア利用の質問紙調査）
3. インターネット市民塾の研究の、3部で構成されている。

学校教育編

1. 小学校におけるメディア・リテラシー教育の実践調査
2. 学校・家庭におけるメディア利用とメディア・リテラシーの、2部で構成されている。

それぞれの調査は、本研究にあたった研究者が、社会教育、学校教育の場に直接入り込んで行われたものであり、より現実 に即した報告となっている。

と実践」 / 「コンテキスト創造のための新しい情報ハンドリングツールの研究～知識・情報格納型操作ブロック『六・格・散』の実践記録～」 / 『会社をつくろう』中3社会科公民的分野における授業実践報告」 / 「学習メディア設計の領域～情報環境型教材を用いた学習実践を通じて～」 / 「フィールドクエスト型RPGで学ぶ世界事情～インパク滋賀県『湖と森の伝説』の開発現場から～」

*他の内容については当学会のホームページにて、近々公開予定。

問い合わせ先
JASAG2002秋季大会事務局
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部松井研究室内
TEL 075-753-3484
FAX 075-753-3492

<http://www.gs.econ.kyoto-u.ac.jp/jasag/2002autumn/>

コンクール情報

「第46回日本紹介映画・ビデオコンクール」開催

（財）日本映画海外普及協会、（社）映像文化製作者連盟主催による標記コンクールは「日本の姿を海外に紹介するに適した映画およびビデオの中から優秀な作品に賞を贈り、併せて映画・ビデオの製作の振興を図るとともに、内外における有効な利用を通じて日本に対する国際的理解の促進に貢献する」ことを目的として、下記の要領で開催される。

参加部門

日本の文化・芸術に関するもの

日本の科学技術・産業・社会一般に関するもの

参加条件

60分以内。平成13年10月1日～平成14年9月30日までに完成した作品。1社3本まで。…等申し込み締め切り

平成14年10月1日（火）正午
問い合わせ先

日本紹介映画・ビデオコンクール運営事務局

〒105-0001東京都港区虎ノ門1-17-1視聴覚ビル（社）映像文化製作者連盟内

TEL 03-3501-0236

e-mail: inquiry@eibunren.or.jp

地域の情報

「第14回兵庫県丹波篠山ビデオ大賞～全国アマチュアビデオコンテスト～」作品募集開始

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会では、標記コンテストの参加作品の募集を開始した。

作品テーマ

ミュージアム情報

パナソニックデジタルネットワークミュージアム「林原自然科学博物館ダイノソファクトリー」オープン

携帯情報端末などの先進的なデジタル技術と、世界レベルの貴重な恐竜の化石。両者による新しいスタイルの博物館が、9月14日にオープンする。

この企画は、林原自然科学博物館と松下電器産業(株)の共同事業である。

館内には、世界最大級の恐竜「ブラキオサウルス・アルティソラックス」や、林原自然科学博物館がモンゴル古生物センターとの共同調査で採集してきた数多くの貴重な標本が展示されている。



館内には「解説板」がほとんどない。入口で手渡された携帯情報端末(写真右上)を使って、各人の興味の深さや知識に応じてそれぞれの展示物の情報を自由に探ることができる。

“ファクトリー”という名に象徴されるように、館内は恐竜を研究する現場そのもの。空間、標本、解説、展示演出、そしてスタッフの教育活動や演示、すべてが有機的にかみ、 「もの」とそれにかかわる「ひと」に親近感が生まれる楽しい展示になっている。

携帯情報端末で調べた内容の履歴を、館のホームページに登



録し、各自に与えられたIDによって自宅や学校で博物館見学を反芻することもできる。

貴重な「もの」と「ひと」 「その背景」をデジタルで何倍にも生かす、今までにない博物館をめざす。(林原自然科学博物館副館長・石垣忍)

<インフォメーション>

住所：東京都江東区有明2-5-18

パナソニックセンター内

TEL：03-3599-2500

交通：りんかい線国際展示場駅2分

入館料：大人800円、中・高生400円、小学生以下200円、20名以上団体2割引

開館時間：11:00～18:00(月曜休館)

「いっしょに生きる」

家族、恋人、愛犬、自然など...。かけがえのないパートナーとの関係を通して作者の生き方を描く。

「心のふるさと」

人生の拠り所となっている「心のふるさと」への思いを綴る。

常設テーマ：「私が見つけた丹波篠山」

単なる風景映像や観光記録ではなく、作者の視点で見た丹波篠山の未知なる部分を描く。

CM部門

15秒、30秒の短い時間にこめられたメッセージ。篠山市内で撮影された映像または篠山をイメージしたCG等で構成されたものであれば、テーマは自由。

応募条件

VHS・8ミリ・DV・DVCAMのビデオのいずれかにて制作 /

10分以内(CM部門は15秒か30秒) / 1テーマにつき2作品まで / 他のコンクールにて入選以上の賞に該当していないこと / 他のコンクールに出品中でないこと / ...等

応募締め切り

平成14年11月29日(金)

応募・問い合わせ先

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会事務局 〒669-2292兵庫県篠山市杉7-1 篠山市視聴覚ライブラリー内 TEL 0795-94-1134 FAX 0795-94-3590 <http://edu.city.sasayama.hyogo.jp/index.html>

短 信

文部科学省の異動

国立教育政策研究所長伊勢呂裕史氏が平成14年7月31日付で退任、後任には研究振興局長遠藤昭雄氏が就任した。

生涯学習政策局政策課長山中伸一氏が同年8月1日付で大臣官房文教施設部総務課長に異動、後任には初等中等教育局教育課程課長布村幸彦氏が就任した。

文化庁文化部長遠藤啓氏が同年8月1日付で経済社会総合研究所総括政策研究官に異動、後任には、大臣官房審議官・生涯学習政策局担当寺脇研氏が就任した。

(社)日本映画機械工業会が解散

当工業会は平成14年8月30日付にて、業務の一部を(社)日本映画テレビ技術協会に引継ぎ、解散した。

キャビン工業(株)は9月26日より下記住所に移転した
〒135-8730東京都江東区潮見2-9-15 内田洋行潮見オフィス5F
TEL 03-5653-5011(ビジュアル営業部)